

2018年度(平成30年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(29)番 福山市立本郷小学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	コミュニケーション能力	問題解決力	思いやり	主体性・積極性
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童の姿)	相手の意見を尊重しながら聴き、自分の意見を持ち、伝えることができる。	疑問に思ったことから課題を見つけ、自分で調べたり周りの人と協力したりして解決できる。	相手の気持ちを考えながら、自己表現し、互いの存在や立場を尊重することができる。	仲間とのかかわりの中で自分の役割を自覚し、積極的に活動することができる。

2 授業の現状

- ・板書計画を立てることで、めあて、主発問、まとめが一致する授業づくりができつつある。
- ・児童は自分の考えを出し合っているが、多様な視点から全体で考え、深める授業になっていない。
- ・必要な情報を適切に取り出し、条件に応じて書くことに課題がある。

転換

3 めざす授業の姿

- ・自ら課題を見つけ、互いに関わり合い、共に高め合うことができる授業
- ・自分の考えを相手に伝え合うことで、思考を深めていくことができる授業

4 めざす授業に向けた取組の具体

<h3>4月からの取組</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・教室に掲示してある学びを深める言葉を使い、考えをつなげる発言をする。 【「みんなで学び合おう」の学び合う言葉を使い一人1回以上発言】 ・板書計画を立てることで、1時間の授業の流れや児童の学びをどこで深めるかをシミュレーションし、発問を焦点化していく。 【思考を深める授業作りのための板書計画を1日1時間以上作成】 	<h3>8月末の状況</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・学びをつなげるために、学びを深める言葉を意識して指導したが、十分ではなく、引き続き指導が必要。 ・授業研究の中でどこで考えを深めることができるのか、模擬授業を通して研修を深めていった。 【学び合う言葉で一人1回以上発言 57.4%】 ・板書計画を立てることで、1時間でどんな力をつけたいのかが明確となり、発問も焦点化した。 【思考を深める授業を意識した板書計画1日1時間以上達成率77.8%】 	<h3>9月からの取組</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・学びを深める言葉を引き続き指導する。 ・問題把握の力をつけるために、長文読解、活用問題を定期的に取り組む。 【「みんなで学び合おう」の学び合う言葉を使い一人1回以上発言】 ・板書計画を立て、児童の学びをどこで深めるかをシミュレーションし、発問を焦点化する。 【思考を深める授業作りのための板書計画を1日1時間以上作成】 	<h3>12月末の状況</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・学びを深める言葉を教師が意識し、評価することで、児童が学びをつなげようとする意識が高まった。 ・長文読解、活用問題(週1回以上、全学年が実施した。 【学び合う言葉で一人1回以上発言 78.0%】 ・板書計画で学びのゴールを意識することで、教師が教える場面と子どもたちが思考・判断・表現する場面を、関連させながら指導することを意識するようになった。【板書計画1日1時間以上達成87.5%】 	<h3>1月からの取組</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・学びを深める言葉を引き続き指導する。 【「みんなで学び合おう」の言葉を使い、一人一回以上発言】 ・主体的な学びについての授業実践を1回以上行い、実践交流する。 ・板書計画を立て、学びのゴールに向けて、児童の考えが深まる場面を意識的に設定する。 【思考を深める授業づくりのための板書計画を1日1時間以上作成】 	<h3>2月末の状況</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・学びを深める言葉を教室に掲示し、指導することにより、児童が友だちとの学びをつなげようとする意識が高まった。 【学び合う言葉で一人1回以上発言 75.1%】 ・主体的な学びについて授業を計画し、実施することができた。授業実践交流を春休み中に実施する。 ・板書計画を立てることで、1時間の授業をシミュレーションし、めあて、主発問、まとめが一致するような授業づくりを意識することができた 【板書計画1日1時間以上達成88.9%】
---	---	---	--	---	--

5 取組の結果等

数値は2018年(H30年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)

	A問題	B問題
国語	75.0(+2.0)	52.0(-7.0)
算数	61.0(-5.0)	46.0(-8.0)
理科	56.0(-7.0)	

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査(児童質問紙調査)(%)

内容	国語		算数		理科	
	よく	やや	よく	やや	よく	やや
授業が分かる	29.2	58.3	50.0	41.7	75.0	25.0
学校が楽しい	83.3					

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%) (2)月末現在

暴力行為	0	不登校	0
------	---	-----	---

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 37/48	重点課題…反復横跳び 目標…学年平均が全国平均値をこえる学年50%以上 結果…全国平均値以上の学年(男子66.7% 女子33.7%)	50m走 立ち幅跳び	・体育で毎時間行うサーキット運動の中に、重点課題の種目を取り入れる。 ・体育科の授業に、意識的に課題項目を改善する動きを取り入れる。 ・課題種目の再測定を行う。
(女子) 31/48			
目標値	・「50m走」を、全学年、県平均値かつ全国平均値以上にする。 ・「立ち幅跳び」を全学年、県平均値かつ全国平均値以上にする。		

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	よく	当てはまる
仕事にやりがいを感じている	33.3	33.3
仕事に充実感がある	16.7	33.3

児童生徒アンケート(%)

質問項目	当てはまる	少し
授業で考えることが面白い	76.4	23.6
自分の考えは、認められている	72.9	27.1